



三条北ロータリークラブ週報

人類が私たちの仕事

例会日
2002. 2. 2~3
累計 No 739
当年 No 30

国際ロータリー会長 リチャード D. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

例会日／火曜日 12:30~13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX 34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX 33-8972
メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事： 夫人同伴親睦旅行（安治川部屋・米山記念館・伊豆長岡）

会員17名夫人 6名参加

出 席： 本日の出席 59名中 39名（内記帳 22名）

先々週の出席率 61名中 47名 77.05% (前年同期 87.50%)

先週のメークアップ： 1月31日 見附RCへ 五十嵐 茂さん、佐藤弘志さん

2月4日 三条南RCへ 中條耕二さん、山崎 勲さん

ビジター： 三条RCより（敬称略） 五十嵐晋三、松谷晃吉、斎藤 弘、細井増雄
五十嵐総一、小越憲泰、加藤紋次郎、渡辺喜彦
斎藤 隆

三条南RCより（敬称略） 田代徳太郎、坂井範夫、広岡豊樹、近藤鉄也
渡辺久晃、渡辺一郎、長谷川晴生

ニコニコボックス： 2日現在累計 690,000円

コメントなし

北ロータリークラブ旅行記

・両国安治川部屋訪問

ヒョロリとした、これで相撲とりかと思う子の闘志むきだしの稽古に感動。聞けばモンゴル出身とか。これから出世を陰ながら応援したい。

・笠雲姿の富士の山

帰ってからの新聞によれば横筋笠と呼ばれる非常に珍しい姿とか。まさに貴婦人の白い帽子姿。全員感動。北ロータリークラブの風流人の詠んだ歌を紹介します。

斎藤 興一

笠雲に想いを残し白き富士

我が夢を富士に託したこともある

佐藤 啓策

我が友と車窓に見ゆる富士の山

富士の山、桜の花と我が日本負けてたまるか大和魂

米山 忠俊

富士を見て思いをとばす我が妻のふじ

日の本一の富士を見て我が人生勇氣凜凜

山口 龍二

わざわざ青森に行かぬとも見ゆるねぶたかな

中條 耕二

雲晴れて頭見ゆる富士の山

・三島大社参拝

樹齢1200年のキンモクセイの大木あり。斎藤会員の見立てでは樹齢800年位とか。どちらが正しい? 思いがけず啓作会員の亭主関白ぶりに一同啞然。

・三島のウナギ

本場のウナギ、米は新潟産コシヒカリとか。但し期待したほどでなし。

・米山梅吉記念館

ガイドの女性の話では新潟県内からクラブとしての訪問は三条北RCが初めてとか。数々の遺品で梅吉翁の偉業を偲ぶ。りっぱな例会場完備。木宮会長の点鐘で例会も済ませました。

・伊豆長岡湯けむりの宿

湯の町エレジーの世界で親睦。

・藍染めの体験

作品は例会時にお見せします。

・さてゴルフは

雪のためにチョン。

参加頂いた会員、並びにご夫人に親睦委員会として心から感謝申し上げます。

親睦活動委員長 今井 克義

会 員 の 声: 外山晴一

日本の財政・金融政策についての提言

日本の現在の不況からいかにして脱出するかの議論が盛んに行われています。そのほとんどが構造改革は必要といながらも、今まで日本経済をリードしてきた大企業を中心とした現在の日本の仕組みを維持した上で構造改革と言っているようです。私にはこの議論は幕末時に幕藩体制の中での改革を志向したものと同じに見えます。当時の多くの人には幕府や藩の無い体制など考えられなかったと思います。でも幕府や藩を残しておいたら近代日本は無かったと今では誰もが思って

